

エゾウコギ(*Acanthopanax senticosus*. Harms)抽出物入りドリンク 摂取によるヒト血液流動性に対する影響

日本ヘモレオロジー学会誌 (2004年)に掲載

【研究目的】

MC-FAN(一般には血液の“サラサラ度”を測定する装置として知られている)は生体内の毛細血管で生じている現象を推定でき、生活習慣病の本態である最小循環障害を確認できるといわれています。そこで、古くから滋養強壮剤として使用されており、また抗ストレス、疲労回復などの改善作用も確認されているエゾウコギエキス入りドリンクを用いて、その作用を確認しました。

【実験方法】

血液流動性を測定するためにMC-FANを用い、血液通過時間を測定しました。血液通過時間の比較的遅い10名の男性ボランティアにウコギエキス入りドリンク30mlを1日2回、2週間飲用してもらい、飲用前後の血液通過時間を測定しました。血液通過時間の測定は飲用開始前、飲用1週間後および飲用2週間後の3回行ないました。

【結 果】

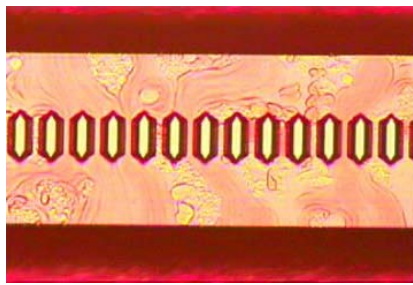
エゾウコギエキス入りドリンク飲用によって血液通過時間は短く、言い換えれば、血液はサラサラになりました。また、1週間の飲用よりも2週間の連続飲用の方がより良い結果が得られました。試験結果を表1に、血液の流れの状態を写真1に示します。尚、この飲用期間中に異常所見は見られませんでした。

表1. 測定結果

測定時期	血液通過時間 (秒)
飲用前	53.91±0.90
飲用1週間後	49.45±2.01
飲用2週間後	45.39±1.24

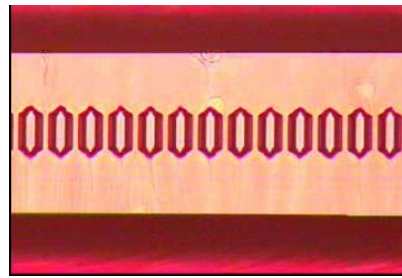
注) 血液通過時間が短い=血液サラサラ

写真 1. エゾウコギエキス入りドリンク飲用前後の血液流動性の変化



(ドロドロ血液)

飲用前



(サラサラ血液)

飲用後

《掲載論文》

掲載誌： 日本ヘモレオロジー学会誌 7巻1号、2004年

タイトル： エゾウコギ (*Acanthopanax senticosus*, Harms) 抽出物入りドリンク摂取によるヒト血液流動性に対する影響

著者： 勝又亨祥¹⁾, 澤田陽子¹⁾, 竹原功¹⁾, 溝口亨²⁾, 竹腰英夫²⁾, 横山一彦¹⁾, 舘田智明¹⁾, 菊池佑二³⁾

所属： ¹⁾(株)新薬開発研究所, ²⁾(株)サン・クロレラ, ³⁾食品総合研究所マイクロチャンネルアレイ工学チーム

この情報は、学術雑誌や学会において発表された内容の掲載であり、商品の販売促進を目的とするものではありません。